

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第 1 面）

産 業 廃 棄 物 処 理 計 画 書

令和 5 年 6 月 19 日

都道府県知事 三村 申吾 殿

提出者

住 所 青森県十和田市東十四番町 17 番 28 号

氏 名 有限会社 みのる養豚

代表取締役 中野渡 稔

電話番号 0176-25-2211

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事 業 場 の 名 称	有限会社 みのる養豚
事 業 場 の 所 在 地	青森県十和田市大字米田字 石倉 44、細工屋敷 70、アエノクキ 6、上長台 46、 青森県六戸町大字折茂字今熊 240
計 画 期 間	令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事 業 の 種 類	畜産業
② 事 業 の 規 模	2500 頭一貫経営
③ 従 業 員 数	45 名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<div>豚舎 ↗ 尿 → 浄化槽で処理後、河川に放流 ↘ 糞 → 自己中間処理 → 堆肥化して譲渡 ↓ 堆肥化して業者へ販売</div>

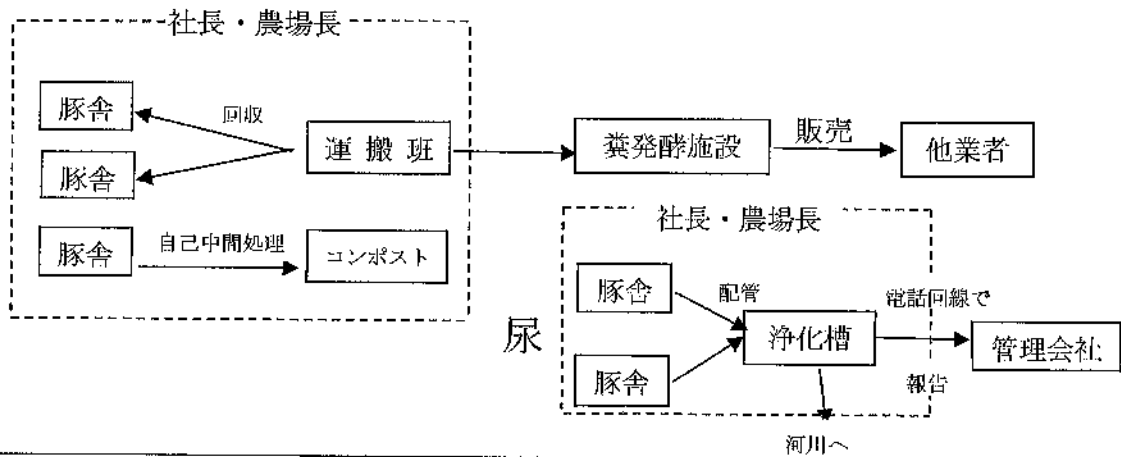
（日本工業規格 A 列 4 番）



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜糞尿	—
	排出量	45,000 t	—
	(これまでに実施した取組)		
	浄化槽をより性能の良いものに変え、尿の処理水を河川に放流できるようにした。 糞と尿を分離し、再生利用できるようにした。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜糞尿	—
	排出量	45,000 t	—
	(今後実施する予定の取組)		
	—		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) —
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) —

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	—	—
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜の糞	家畜の尿
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	—	—
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	6,387 t	26,459 t
	(これまでに実施した取組) 糞はコンポストで堆肥化し、尿は浄化槽を性能の良いものに変更し処理水を河川へ放流。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜の糞	家畜の尿
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	—	—
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	4,200 t	42,000 t
	(今後実施する予定の取組) 糞のコンポストでの処理量を増やす。		